

# 県民の森 花ごよみ 3月号

～裏面に開花・結実の調査結果を掲載～

アオイスミレ(E)



種名は、葉がフタバアオイに似ていることによる。早春にスミレの中では真っ先に花を咲かせる。蒴果は、地面に転がっているように見える。  
〈スミレ科〉

ウメ(A, H)



初春、葉に先立って香り高く咲く花は万葉以来愛されてきた。中国中部原産。全国で栽培され、九州の一部では野生化している。  
〈バラ科〉

ヤブツバキ(C, D, E)

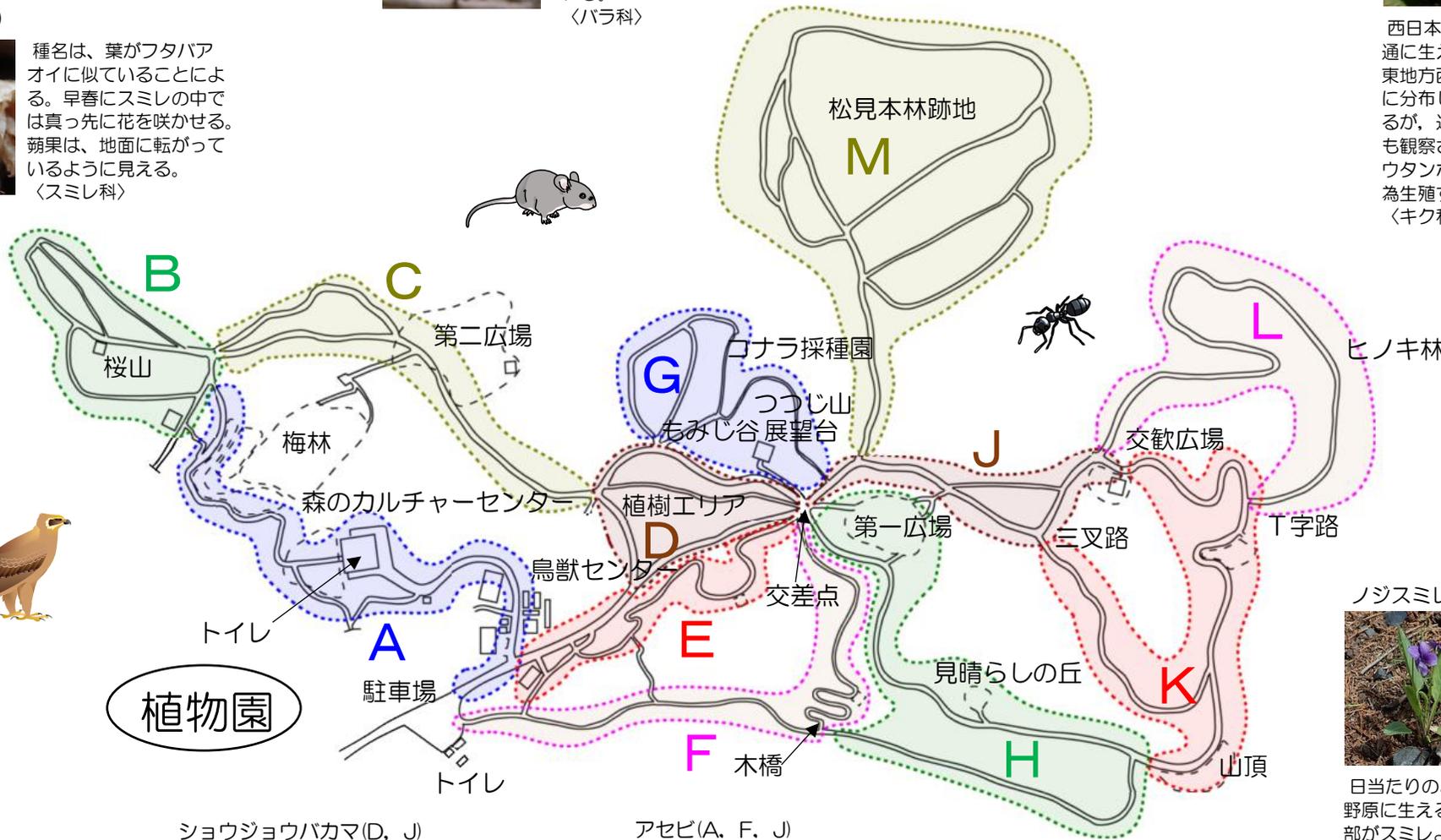


本州から沖縄の暖温帯や亜熱帯に自生。庭木や公園樹などの植栽され、園芸品種も多い。  
〈ツバキ科〉

シロバナタンポポ(A)



西日本の人家近くに普通に生える多年草。関東地方西部よりも西側に分布しているとされるが、近年、茨城県でも観察される。セイヨウタンポポのように単為生殖する。  
〈キク科〉



ノジスミレ(G)



日当たりのよい道端や野原に生える。葉の基部がスミレよりも広く、葉柄の翼はあまり目立たない。花は淡い紫から赤紫までであるが、青みを帯びることが多い。  
〈スミレ科〉

ショウジョウバカマ(D, J)



山地のやや湿ったところにはえる常緑多年草だが、冬から早春にかけて葉が紅葉する。和名はこの紅葉した葉を、はかまにみたてたもの。  
〈シュロソウ科〉

アセビ(A, F, J)



常緑低木～小高木。つぼみは前年の7月からできて越冬するが、これほど早くから越冬準備をする花は他にない。有毒植物で葉をかむと苦い。馬が食べると苦しむといい、馬酔木と書く。  
〈ツツジ科〉

# 3月の県民の森で観察された花，果実，冬芽など

調査：令和6年3月17日，県民の森等ボランティア

観察エリア	観察された花や果実，冬芽
県民の森全域に点在	オオイヌノフグリ，コハコベ，タネツケバナ
A 駐車場～森のカルチャーセンター～桜山	アオキ(実)，アセビ，アンズ，ウメ，カンツバキ，シュンラン，シロバナタンポポ，セイヨウタンポポ，ソシンロウバイ，ナズナ，ヒメオドリコソウ，ヒメスミレ，ホトケノザ，ロウバイ
B 桜山	カワツザクラ，ゴンズイ(冬芽)，ヤブツバキ(蕾)
C 桜山～第二広場～植樹エリア	ウグイスカグラ，キツタ(実)，コブシ，セイヨウタンポポ，トサミズキ，ヒサカキ，ヤブツバキ
D 植樹エリア	ウグイスカグラ，カンスゲ，ショウジョウバカマ，ツバキ(園芸種)，ヤブツバキ
E 鳥獣センター～遊歩道～交差点	アオイスミレ，アセビ，セイヨウタンポポ，ヒサカキ，ヤブツバキ
F 駐車場～木橋～交差点	アセビ，ヒメオドリコソウホトケノザ
G つつじ山，もみじ谷周辺	ウグイスカグラ，カントウタンポポ，クサボケ，セイヨウタンポポ，ノジスミレ，ヒメオドリコソウ，フキ，ホトケノザ，ミドリハコベ，メタセコイア
H 第一広場～見晴らしの丘～木橋	ウメ，タチツボスミレ，ヒサカキ，ミツバツチグリ
J 交差点～交歓広場	アセビ，カントウタンポポ，ショウジョウバカマ
K 交歓広場～山頂～三叉路	クサボケ，シュンラン，タチツボスミレ，フキ，ヤツデ(実)
L 交歓広場～ヒノキ林～T字路	ウグイスカグラ
M コナラ採種園～松見本林跡地	カントウタンポポ，キツタ(実)，タチツボスミレ

※県民の森での山菜や山野草，果実の採取は禁止です。生物多様性と生態系の保全のため，植物の保護にご協力をお願いいたします。